

中心市街地の方針（中心市街地のマスタープラン）

1. 中心市街地の将来都市構造

駅南北の都心、大分市美術館を中心とする緑の拠点、さらに芸術文化拠点としての大分県立美術館や交流人口を生み出す JR おおいたシティなどの商業業務拠点や大分城址公園、史跡大友氏遺跡などの歴史文化観光拠点の拠点形成を進めるとともに、都心南北軸及び国道 197 号再整備事業（リボーン 197）により形成された東西軸と拠点の連携により、「面的な拡がりをもった都市構造」を目指します。

1 | 大分駅南北都心の形成

大分駅周辺総合整備事業により一体化が図られた、JR 大分駅を中心とする南北市街地は、既成市街地であり歴史的・文化的中枢を担ってきた駅北地区と、新しい都心の形成が進む駅南地区の役割分担と相互連携による、新しい都心の形成を図ります。

■ a. 駅北・商業業務都心

- ・ JR 大分駅北地区では、商業・業務機能の集積による拠点性を高めつつ、教育・文化や観光・余暇など新たな機能の集積と、公有地の活用による憩いと交流の場を創出することにより都市の魅力伸展させ、集客力のある商業業務都心の形成を図ります。
- ・ 中心市街地への玄関口である JR 大分駅から商業・業務地や主要公共公益施設への安全で快適な歩行者ネットワークの整備を推進するとともに、中心市街地全体のバリアフリー化を推進します。
- ・ 緑化の推進や都心にふさわしいまちなみなどによる美しい景観形成を図り、魅力と風格のある駅北・商業業務都心の形成を目指します。
- ・ 商業・業務機能の強化とともに、都市型居住機能の集積を図るため、市街地再開発事業や地区計画制度などの活用とあわせて、民間活力による建物の共同化や中高層化を促進するとともに、リノベーションによる既存ストックの有効活用を促進します。

■ b. 駅南・情報文化都心

- ・ JR 大分駅南地区では、文化交流機能や情報系業務機能、都市型居住機能などの集積を図り、駅北地区と連携した駅南・情報文化都心の形成を推進します。
- ・ 大分いこいの道を中心に、都心の森につながる緑地の形成を図るとともに、周囲と調和した緑豊かな都市景観・都市環境の形成と良好な景観の維持を図ります。

2 | 大分駅南北都心を連結する都心軸の形成

本市の玄関口であり、また交通結節拠点である JR 大分駅を中心に、南北市街地の連携により、中心市街地のシンボルとなる都心軸の形成を図ります。

■ a. 大分駅交通結節拠点

- ・駅前広場の利便性向上に取り組むとともに、路線バスや高速バス、貸切バス、タクシーなど他の公共交通の円滑な乗継環境の向上など、交通結節機能の強化に向けた取組を進め、県都大分市の玄関口にふさわしい交通結節拠点の形成を図ります。

■ b. 都心南北軸（都心メインストリート）

- ・都心南北軸の形成のため、駅南地区の大分いこいの道（(都)大分駅上野丘線）と駅北地区の中央通りを都心メインストリートと位置付け、植栽などによる緑化や修景などにより、大分市の顔にふさわしい魅力ある通り空間及び都市景観の形成、良好な景観の維持を図ります。
- ・中央通りは、本市で最も歩行者が多い通りとして、道路空間を有効に活用して、快適で魅力ある歩行者空間を充実させるとともに、東西の商業地の連携を促進し、回遊性を高める歩行者空間の形成を図ります。
- ・大分いこいの道は、ゆったりとした緑豊かな通りと広場の形成が図られ、植栽や修景などにより個性と風格ある美しい通り景観の維持を図ります。

■ c. 都心魅力回廊軸

- ・中央通りを挟んだ駅北地区における東西の商業地の連携及び連続立体交差事業により結ばれた南北市街地の一体化を図るため、都心魅力回廊軸の形成を図ります。
- ・都心魅力回廊軸では、一体感のある景観形成による通りの連続性や沿道施設と連携したにぎわいの創出を図るとともに、中心市街地内を安全に回遊できる歩行者・自転車環境の形成を図り、魅力向上と南北市街地の一体化を高める空間形成を図ります。

■ d. 文化と緑の回廊軸

- ・大分城址公園、都心の森等の中心市街地の緑の拠点や、大分市美術館、大分県立美術館等の文化施設を回遊する軸を文化と緑の回廊軸と位置付け、連続性のある緑豊かな景観と憩いの空間を形成し、回遊性の向上を図ります。

■ e. 緑の景観軸

- ・本市におけるシンボリックな緑である大分城址公園と都心の森は貴重な環境・景観要素として保全を図るとともに、これらを結ぶ市街地において緑化を進め、南北市街地を緑のネットワークで結ぶ緑の景観軸の形成を図ります。

- ・緑の景観軸では、街路樹や植栽による緑化を推進するとともに、大分いこいの道においては、県都大分市の玄関口として、市民が憩い・交流できる広場としての整備が完了し、うるおいある都市環境・景観の維持を図ります。

3 | 個性ある文化を創造する拠点の形成

古代・中世において東九州の中心都市として発展してきたことから、歴史的資源が多く残るとともに、中心市街地におけるシンボリックな緑である大分城址公園や都心の森など、多様な地域資源が豊富な地区の特性を生かし、市民や来街者が憩い・ふれあえる拠点の形成を図ります。

■ a. 緑の拠点

- ・歴史的な拠点である大分城址公園は、堀や緑に囲まれたオアシス的な空間であり、歴史的・自然的景観の保全・形成を図るとともに、隣接する大手公園と一体的に、市民や来街者が憩い・ふれあえる公園の整備を図ります。
- ・都心の森は、中心市街地からのシンボリックな自然的景観を形成しており、今後も美しい自然景観の保全・形成を図るとともに、大分市美術館などと一体的に市民が憩い・やすらげる交流空間の形成を図ります。
- ・JR 大分駅上野の森口広場に面する大分いこいの道は、緑あふれる芝生広場を有する活動拠点として、市民や来街者が憩い、にぎわいの場となるシンボルロードとして、良好な景観の維持に努めます。
- ・大友氏遺跡歴史公園周辺では、歴史資源を生かしつつ、緑と調和した良好な景観の形成に努めます。
- ・中心市街地から大友氏遺跡歴史公園へと続く線路敷ボードウォーク広場の活用など、にぎわいをつなぐ交流の場及び緑と文化が感じられる集いの場となる空間の形成を図ります。

■ b. 歴史文化観光拠点

- ・元町・顕徳町周辺地区及び大分城址公園周辺地区は、歴史的風致の維持及び向上を図るとともに、歴史的資源を生かした歴史文化観光拠点の形成、特色ある景観の保全・形成を図り、拠点間の連携により中心市街地の回遊性を高めていきます。
- ・元町・顕徳町周辺地区では、史跡大友氏遺跡など歴史的資源を活用し、地域再生につながる中世の歴史文化観光施設として歴史公園の整備を図ります。
- ・大友氏の菩提寺である旧万寿寺跡では、元町・顕徳町周辺地区と連携し、市民や観光客が歴史や文化にふれあえる交流空間の整備を推進します。
- ・大分城址公園においては、貴重な歴史的資源である府内城址の遺構などを生かした風格を備えた市民の公園として近世の歴史文化観光拠点の形成を図ります。

第3章 地区別構想

■ c. 複合文化交流拠点

- ・ホルトホール大分は、文化、福祉、健康、産業及び教育の拠点機能を有し、市民が集い、学び、憩い、にぎわい、交流する場として、人と文化と産業をはぐくみ、創造、発信する複合文化交流拠点としてのさらなる発展を目指します。
- ・ホルトホール大分、コンパルホール、オアシスひろば 21 などをはじめとする文化施設の連携を促進して、文化交流を推進するとともに、地域の魅力・活力を高め、にぎわいの創出を図ります。

■ d. 芸術文化拠点

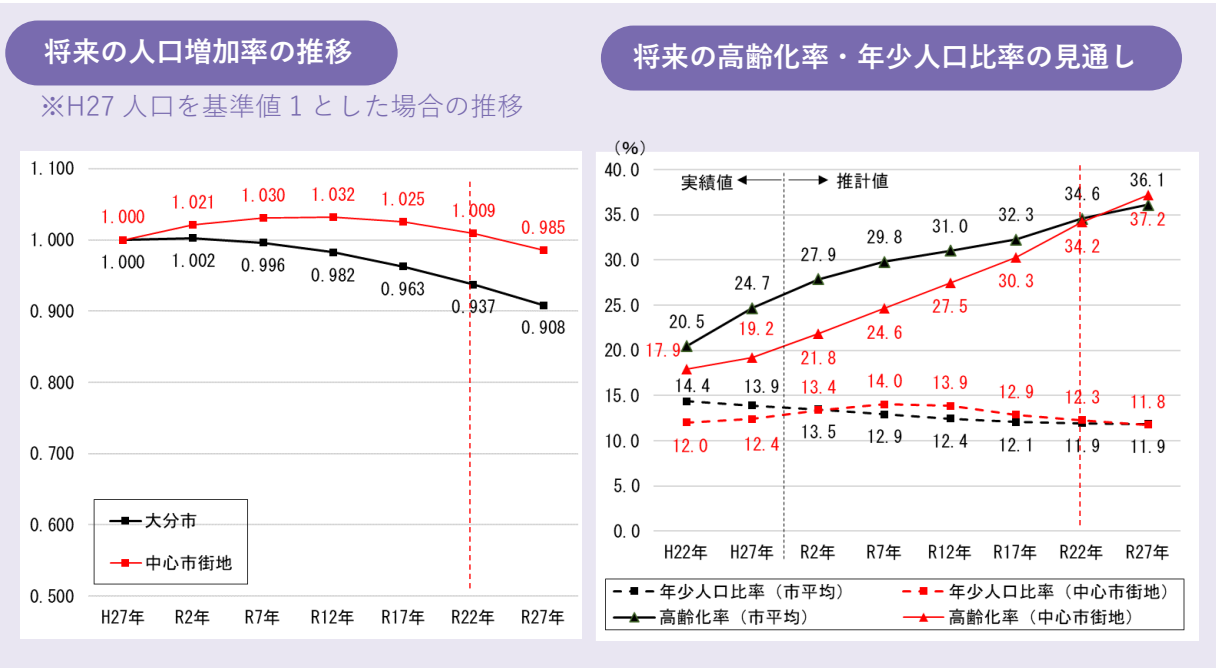
- ・中心市街地から至近の大分県立美術館・オアシスひろば 21 と大分市美術館、アートプラザなどは、芸術文化にふれあい、特色ある地域の芸術文化情報を発信する芸術文化拠点を形成するとともに、拠点間の連携により中心市街地の回遊性を高めていきます。

中心市街地の将来都市構造図



2. 中心市街地の現況

- ・ 中心市街地は、江戸時代に建設された府内城とその城下町を原形とし、明治の近代化により幹線道路や鉄道が整備され、また第二次大戦による戦災で焦土と化したものの、戦後の戦災復興土地区画整理事業により、現在の幹線道路や公園などが整備され、現在の市街地の骨格となっています。
- ・ JR 大分駅を中心とした中心市街地の人口は、平成 2 年をピークに減少傾向が続いていましたが、大分駅南土地区画整理事業を契機に人口は増加しており、平成 27 年の時点で約 2.5 万人となっています。
- ・ 将来人口は、令和 12 年まで増加し、その後減少に転じる見通しです。
- ・ 高齢化率は、平成 27 年では 19.2% となっており、令和 7 年に 24.6%、令和 17 年に 30.3% となる見込みであり、市平均より低いですが、増加する見通しです。
- ・ 年少人口比率は、平成 27 年では 12.4% と市平均より低いものの、その後人口増加の影響もあり、令和 7 年まで増加し 14.0% をピークに、減少に転じる見込みとなっています。



※実績値及び推計値は、100mメッシュ人口を基に作成

※中心市街地の人口及び推計は、平成 22 年及び平成 27 年国勢調査人口を基に作成した 100 mメッシュ人口と、社人研推計に倣いコーホート要因法を用いた推計値を基に、中心市街地の区域内の 100mメッシュ人口の合計値から算出。

第3章 地区別構想

- ・ 駅北地区は商店街や大型店からなる商業地が形成されていますが、居住の郊外化に伴って、大型商業施設の郊外への進出が進み、商業地の吸引力が低下していましたが、大分駅周辺総合整備事業の完了にあわせて、魅力ある大型集客施設の開業により、集客拠点としての機能が高まっています。大型集客施設との連携により、駅北地区の従業者数、商業吸引力の回復が期待されます。
- ・ 駅南地区では、大分駅南土地区画整理事業の完了により、新しいまちが形成されています。
- ・ 中心市街地やその周辺部で都心居住が進んでいます。
- ・ 中心市街地の回遊性や滞留性を高める空間づくりに寄与し中心市街地の活性化に資することを目的として、祝祭の広場の整備が完了しています。
- ・ 宗麟大橋を含む（都）庄の原佐野線の元町・下郡間の整備が完了しています。
- ・ 史跡大友氏遺跡の整備事業が進行中です。
- ・ JR 大分駅から西大分や史跡大友氏遺跡などを結ぶ連携軸として、鉄道残存敷の整備が進められています。



ガレリア竹町



祝祭の広場

3. まちづくりの課題

1 | 土地利用・市街地整備

- ・ 中心市街地においては、各ゾーンの特性に応じた計画的な土地利用が必要です。
- ・ 中央通りを挟む東西商業地の連携強化による中心市街地の活性化が必要です。
- ・ 県都にふさわしい都市機能の集積と中心市街地の再構築が必要です。
- ・ 末広町一丁目においては、空地や低容積の建物の点在、建物の老朽化による防災上の危険性が高まっていることから、市街地再開発事業による土地利用の更新が求められています。
- ・ JR 大分駅及び周辺部における交通結節機能の強化や玄関口にふさわしい景観の形成及び維持が必要です。
- ・ 駅南地区においては、情報文化交流機能の充実が求められています。
- ・ 都市型住宅の供給が多く見られることから、居住者の定着のため、生活に密着したサービスの充実と商業の活性化が求められています。

- ・ 駅南土地区画整理事業による基盤整備が完了し整備された公有地や荷揚町小学校跡地等について、中心市街地の魅力向上につながる有効活用が求められています。
- ・ 大分県立美術館と大分市美術館の芸術文化拠点間の連携、さらにアートプラザなどとの連携による芸術文化の推進が求められています。

2 | 交通施設

- ・ 国道10号や210号などの中心市街地の主要幹線道路に交通が集中し、慢性的な交通混雑の解消が求められています。
- ・ 市東部・南部から中心市街地への円滑なアクセスを確保するための道路整備が必要です。
- ・ 大分城址公園や史跡大友氏遺跡などからなる歴史文化観光拠点間を連絡する（都）県庁前古国府線の景観形成及び徒歩・自転車など多様な交通手段での回遊性の向上が必要です。
- ・ （都）六坊新中島線は、歩行者や自転車の通行空間を確保するとともに、歴史的背景を踏まえた道路整備が必要です。
- ・ 中心市街地における回遊性の向上を図るため、（都）外堀西尾線の整備が必要です。
- ・ JR大分駅における交通結節機能の強化、回遊性向上を担う公共交通の構築、さらにはまちづくりに関連するさまざまな事業に対応し、県都にふさわしい中心市街地の形成を支える交通体系が必要です。
- ・ 中央通りでは、利用しやすい環境づくりに向けて、公共交通の再編やバリアフリー化への対応、道路空間の有効活用が求められています。
- ・ 新たな交通システム導入の検討が求められています。
- ・ 中心市街地における歩行者や自転車の回遊性の向上が求められています。
- ・ 自転車を安全快適に利用できる環境整備が求められています。
- ・ 交通バリアフリーへの対応を含めて中心市街地全体のバリアフリー化が求められています。
- ・ 中心市街地の駐車場の附置義務の見直しが求められています。
- ・ 駐車場が供給過多の状況にある中心市街地においては、量的な駐車場確保からの転換が求められています。
- ・ マイクロバス等により中心市街地へ訪れる観光客やスポーツ大会参加者などの駐車需要への対応が求められています。
- ・ JR大分駅周辺の連続立体交差化に伴い、高架下及び鉄道残存敷の有効利用が求められています。

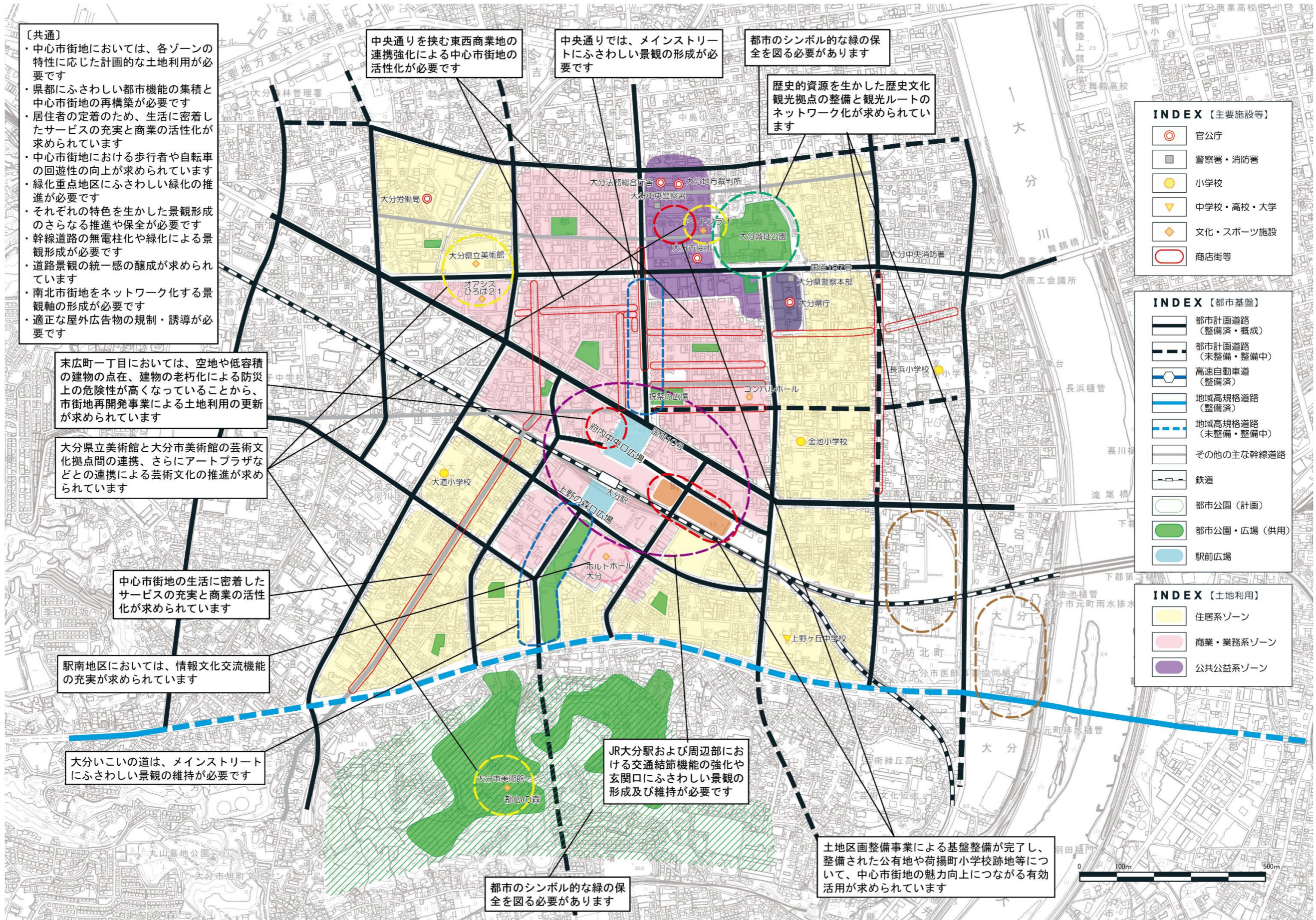
3 | 環境・景観

- ・ 大分城址公園周辺や大友氏遺跡歴史公園周辺では、歴史的資源を生かした歴史文化観光拠点の整備と特色ある景観の保全・形成、観光ルートのネットワーク化が求められています。
- ・ 中心市街地における歩行者や自転車の回遊性の向上が求められています。
- ・ 緑化重点地区にふさわしい緑化の推進が必要です。

第3章 地区別構想

- ・ JR 大分駅周辺では、大分の玄関口にふさわしい景観の形成が必要です。
- ・ 中央通りでは、メインストリートにふさわしい景観の形成が必要です。
- ・ 大分いこいの道は、メインストリートにふさわしい景観の維持が必要です。
- ・ 中心市街地においては、エリアごとに特色ある景観があり、それぞれの特色を生かした景観形成のさらなる推進や保全が必要です。
- ・ 幹線道路の無電柱化や緑化による景観形成が必要です。
- ・ 景観の軸となる道路景観は、複数の管理者により管理され整備時期も異なるため、景観の統一感がないことから、統一感の醸成が求められています。
- ・ 大分城址公園や都心の森など都市のシンボリックな緑の保全を図るとともに、これらをつなぐ市街地において緑化を図るなど南北市街地をネットワーク化する景観軸の形成が必要です。
- ・ 地域特性に応じた適正な屋外広告物の規制・誘導が必要です。

中心市街地の現況及び課題図 <土地利用・市街地整備 環境・景観>



序章 都市計画マスタープランとは

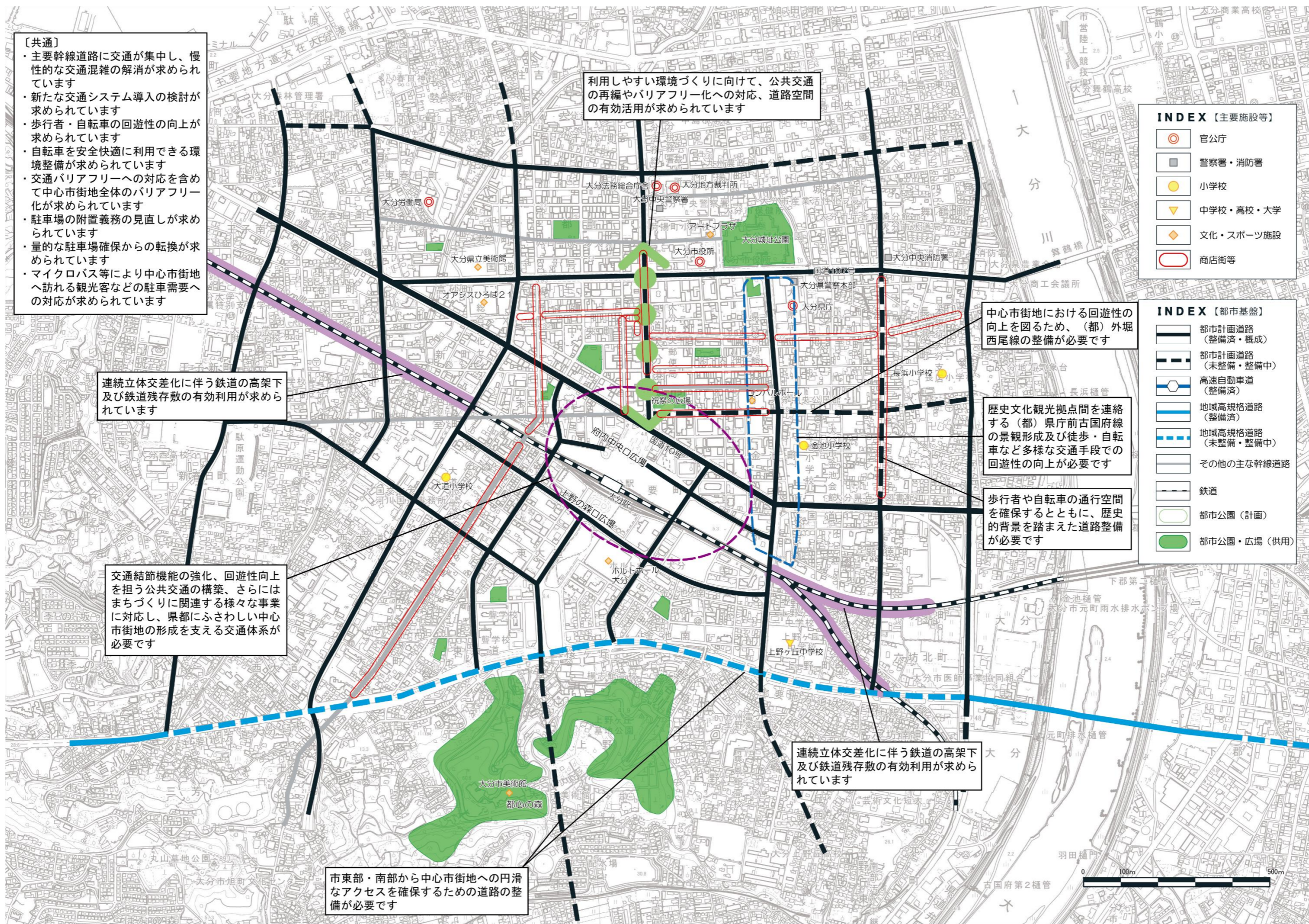
第1章 都市づくりの目標

第2章 全体構想

第3章 地区別構想 中心市街地

第4章 計画の実現に向けて

中心市街地の現況及び課題図 <<交通施設>>



【共通】

- ・主要幹線道路に交通が集中し、慢性的な交通混雑の解消が求められています
- ・新たな交通システム導入の検討が求められています
- ・歩行者・自転車の回遊性の向上が求められています
- ・自転車を安全快適に利用できる環境整備が求められています
- ・交通バリアフリーへの対応を含めて中心市街地全体のバリアフリー化が求められています
- ・駐車場の附置義務の見直しが求められています
- ・量的な駐車場確保からの転換が求められています
- ・マイクロバス等により中心市街地へ訪れる観光客などの駐車需要への対応が求められています

利用しやすい環境づくりに向けて、公共交通の再編やバリアフリー化への対応、道路空間の有効活用が求められています

連続立体交差化に伴う鉄道の高架下及び鉄道残存敷の有効利用が求められています

交通結節機能の強化、回遊性向上を担う公共交通の構築、さらにはまちづくりに関連する様々な事業に対応し、県都にふさわしい中心市街地の形成を支える交通体系が必要です

市東部・南部から中心市街地への円滑なアクセスを確保するための道路の整備が必要です

中心市街地における回遊性の向上を図るため、(都)外堀西尾線の整備が必要です

歴史文化観光拠点間を連絡する(都)県庁前古国府線の景観形成及び徒歩・自転車など多様な交通手段での回遊性の向上が必要です

歩行者や自転車の通行空間を確保するとともに、歴史的背景を踏まえた道路整備が必要です

連続立体交差化に伴う鉄道の高架下及び鉄道残存敷の有効利用が求められています

INDEX【主要施設等】

- 官公庁
- 警察署・消防署
- 小学校
- ▼ 中学校・高校・大学
- ◇ 文化・スポーツ施設
- ◻ 商店街等

INDEX【都市基盤】

- 都市計画道路 (整備済・概成)
- - 都市計画道路 (未整備・整備中)
- 高速自動車道 (整備済)
- 地域高規格道路 (整備済)
- - 地域高規格道路 (未整備・整備中)
- その他の主な幹線道路
- - 鉄道
- 都市公園 (計画)
- 都市公園・広場 (供用)

序章 都市計画マスタープランとは

第1章 都市づくりの目標

第2章 全体構想

第3章 地区別構想

中心市街地

第4章 計画の実現に向けて

4. まちづくりの方針

1 | 土地利用・市街地整備（土地利用ゾーニング）

■ a. 商業・にぎわいゾーン

- ・個性ある店舗づくりや顧客サービスの向上を進め、魅力ある景観を形成するとともに、回遊性と滞留性をあわせもつ空間づくりを促進し、東西の商業業務地及び JR 大分駅の商業業務拠点の連携により、複合的な魅力とにぎわいのある時間消費型の商業地の形成を図ります。
- ・教育・文化機能、観光・余暇機能、医療機能などの集積を図り、求心力の高い中心市街地の活性化を図ります。
- ・建物の共同化や中高層化による土地の高度利用やリノベーションによる既存ストックの有効活用を促進することで、都市機能の充実を図り、中心市街地の活力や新たな魅力の創出に努めます。

■ b. 交通結節・交流ゾーン

- ・本市の玄関口である JR 大分駅を中心に、駅前広場の利便性向上により、交通結節機能の強化を図ります。
- ・市の玄関口にふさわしい良好な景観の形成及び維持を図ります。

■ c. 業務・サービスゾーン

- ・中心市街地の主要な幹線道路沿道などを中心に、オフィスなどの業務機能や沿道型の商業サービス機能の集積を図り、中心市街地の業務・サービスゾーンの形成を図ります。

■ d. 情報文化・交流ゾーン

- ・市民が集い、学び、憩い、にぎわい、交流する場として、人と文化と産業をはぐくみ、創造、発信する複合文化交流拠点の形成を推進します。
- ・至便な交通アクセスを生かし、新しい事業所ニーズに対応したオフィスなどの供給により、情報サービス系業務機能の集積による新たな業務拠点の形成を図り、中心市街地における就業環境の向上に努めます。

■ e. 行政サービス・交流ゾーン

- ・歴史的に行政の中心であった大分城址公園周辺は、市役所や県庁など多くの公共施設が集積している行政サービスの拠点的なエリアと位置付け、施設間における連携の促進による市民サービスの向上及び施設の有効活用を図ります。
- ・公共施設を中心にバリアフリー化や緑化を推進し、大分城址公園と一体となった緑豊かな快適でうるおいある公共空間の整備を推進し、市民が憩い・ふれあえる交流空間の形成を図ります。

第3章 地区別構想

■ f. 飲食・アミューズメントゾーン

- ・飲食施設が集積した本市の中心的な繁華街として、大分らしさを生かした飲食・アミューズメントゾーンの形成を図り、商業・にぎわいゾーンと連携した都市型観光・余暇機能の充実を図ります。

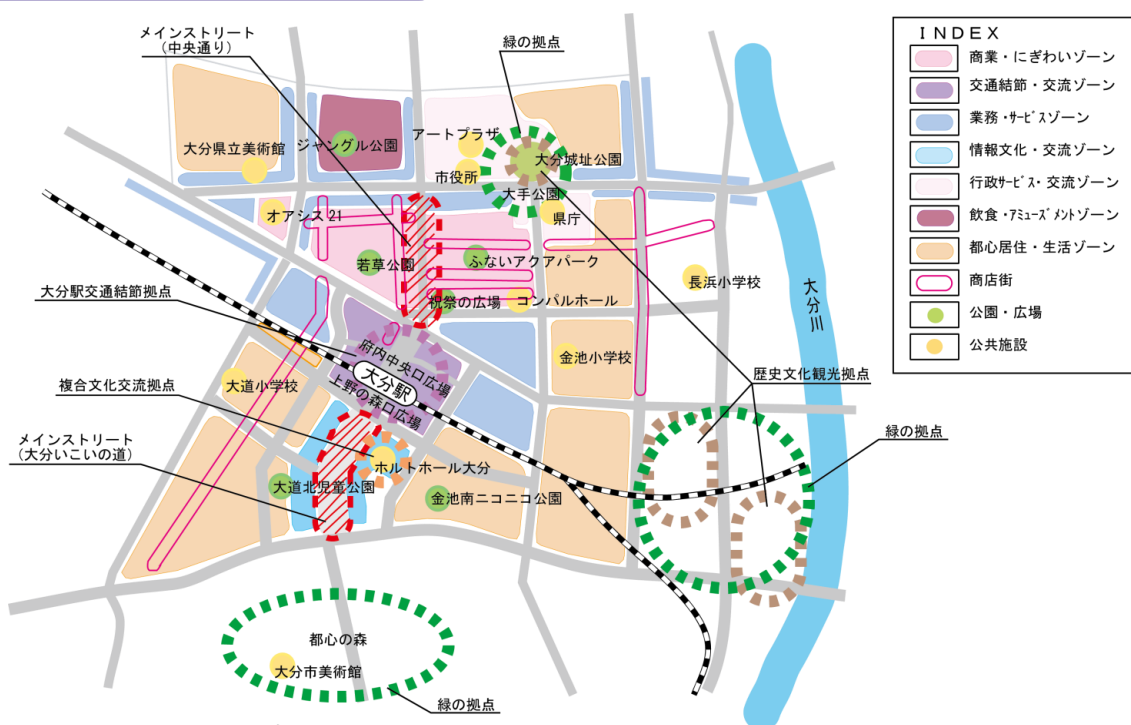
■ g. 都心居住・生活ゾーン

- ・充実した公共交通、公共公益施設や職場への近接性など、中心市街地の利便性の良さを生かし、都市型住宅を中心とした住宅供給を促進するとともに、生活利便施設の集積を図り、快適で環境にやさしい都心居住・生活ゾーンの形成を図ります。
- ・中心市街地の利便性に加え、だれもが安心して住み続けられる住環境の形成を図るため、学校や公園、公民館など地域の人々のふれあいや交流をはぐくみ、地域コミュニティ育成につながる地域交流施設の充実を図ります。

■ h. その他

- ・末広町一丁目地区第一種市街地再開発事業により、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ります。
- ・大分駅南土地区画整理事業により創出した JR 大分駅東側の低・未利用地では、交通結節機能の強化など、県都の玄関口にふさわしい、にぎわいをつなぐ交流の場の形成を図ります。
- ・荷揚町小学校跡地では、地域住民や訪れる人が安心して快適に過ごせる憩いの場の創出を図ります。
- ・大分県立美術館と大分市美術館の芸術文化拠点間の連携、さらにアートプラザなどとの連携による芸術文化の推進を図ります。

中心市街地の土地利用ゾーニング図



2 | 交通施設

■ a. 幹線道路網

- ・ 郊外から中心市街地への交通の流入による慢性的な交通混雑の解消と、南北市街地の連携を促進するため、主要幹線道路である国道10号、210号、197号及び（都）県庁前古国府線などの整備・充実にに向けた取組を進めます。
- ・ 本市の玄関口である東九州自動車道大分ICや、中心市街地と東部市街地を広域的に結ぶ骨格的な幹線道路として、（都）庄の原佐野線の整備に向けた取組を進めます。
- ・ 中心市街地と南大分地区とのアクセスの向上を図るため、（都）上野丘南大分線の整備に向けた取組を進めます。
- ・ （都）県庁前古国府線は、道路空間の再整備に向けた検討を進めるとともに、歴史文化観光拠点を結ぶ路線として徒歩・自転車など多様な交通手段での回遊性の向上を図ります。
- ・ （都）六坊新中島線は、歩行者や自転車の通行空間を確保するとともに、歴史的背景を踏まえた道路整備に向けた取組を進めます。
- ・ 中心市街地における回遊性の向上を図るため、中央通りから（都）県庁前古国府線までの区間における（都）外堀西尾線の整備に向けた取組を進めます。

■ b. 大分駅交通結節拠点

- ・ 駅前広場の利便性向上に取り組むとともに、路線バスや高速バス、貸切バス、タクシーなど他の公共交通の円滑な乗継環境の向上など、交通結節機能の強化に向けた取組を進め、県都大分市の玄関口にふさわしい交通結節拠点の形成を図ります。

■ c. 公共交通

- ・ JR大分駅周辺部では、駅前広場や公有地などを活用し、鉄道やバス・タクシーなどの公共交通機関の連携強化による公共交通サービスの充実を図ります。
- ・ 回遊性やアクセス性を向上させるとともに、円滑に移動できる手段を確保するため、中心市街地循環バスの運行に取り組めます。
- ・ 中央通りでは、大分駅交通結節拠点と連携し、通りに分散するバス乗降場の集約化や路線網の再編など公共交通の再編を促進します。さらに、だれもが利用しやすい公共交通を形成するため、バリアフリー化を推進します。
- ・ 運転手不足による公共交通サービスの縮小や高齢者の運転免許の自主返納等による交通弱者の増加など、課題となる移動手段の確保や輸送の合理化に向け、自動運転やバス高速輸送システム（BRT）などの新たな交通システムの導入について検討を行います。

第3章 地区別構想

■ d. 歩行者・自転車ネットワーク

(a) メイン動線

- ・ JR 大分駅を中心とした南北市街地や中央通りを挟んだ東西商業地間での交流・連携を促進し、回遊性の向上による新たな魅力の創出を図るため、主要な歩行者・自転車動線をメイン動線と位置付け、歩行環境や自転車利用環境の向上を図り、安全かつ快適で連続性のある歩行者・自転車ネットワークの形成を図ります。
- ・ 比較的幅員の広い道路などにおいては、歩行者や自転車利用者が安全で快適に利用できるよう、自転車道などの独立した空間の設置を検討します。
- ・ 中央通りについては、道路空間の有効活用により、快適で魅力ある歩行者空間の形成を図ります。
- ・ 沿道施設と連携して、都心魅力回廊軸の回遊性を高め、都心の魅力創出を推進します。
- ・ だれもが安心して回遊できる中心市街地を形成するため、交通バリアフリーを含めた中心市街地全体のバリアフリー化を推進します。

(b) サブ動線

- ・ メインとなる歩行者・自転車動線を補助する通りでは、歩行者や自転車の安全な通行を確保するとともに、メイン動線と合わせ、快適な歩行者・自転車利用環境の形成を図ります。

(c) 自転車利用の促進

- ・ 自転車は環境負荷が小さく、比較的気軽にだれでも利用できることから、近年、関心が高まっている交通手段の1つです。中心市街地へ流入する自動車による慢性的な交通渋滞が大きな課題となっており、比較的平坦な地形を生かし、積極的な自転車利用を促進する自転車走行空間ネットワークの整備を推進します。
- ・ 自転車は徒歩よりも比較的広いエリアへの移動が可能です。この機動性の高さを生かし、JR 大分駅や大分城址公園などの観光拠点において、観光客や中心市街地への来街者などを対象としたシェアサイクルの導入などによる自転車を活用した回遊性の向上を図ります。

(d) 駐輪対策など

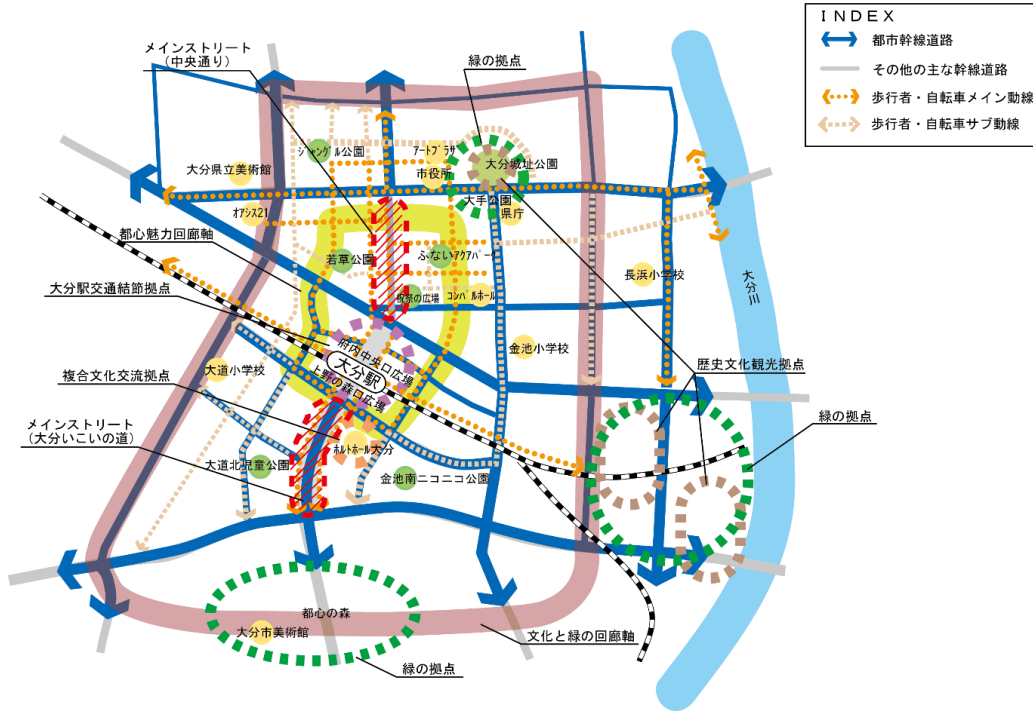
- ・ 自転車による回遊性を支援するとともに、商業施設などにおける駐輪施設の附置義務駐輪場とあわせて、適正な公共駐輪場の整備を進めることで、官民一体となった適正な駐輪場の整備に取り組み、自転車利用環境の向上を図ります。
- ・ 自転車等放置禁止区域の指定による放置自転車などの撤去、自転車通行マナーの周知と徹底を図り、継続的に安全な歩行環境の形成に取り組みます。

(e) その他

- ・ 中心市街地活性化施策と連携した駐車場配置適正化区域の設定や附置義務駐車台数の見直しなど、駐車場の配置や質的な向上など高質化に向けた駐車場整備・配置に関する検討を進めます。

- ・観光客など中心市街地への来訪機会の向上を図るため、観光施策との連携による観光バスやマイクロバスの乗降場の整備とあわせて駐車場確保について検討を行います。
- ・鉄道高架下及び鉄道残存敷の有効活用を図ります。

中心市街地の交通体系図



INDEX	
	都市幹線道路
	その他の主な幹線道路
	歩行者・自転車メイン動線
	歩行者・自転車サブ動線

3 | 環境・景観

■ a. うるおいある都市環境の形成

(a) 来街者が憩い・交流する場の充実

- ・大分城址公園は、中心市街地のオアシス空間として、歴史的・自然的な環境・景観の保全・形成を図ります。
- ・さらに、大手公園との一体整備による近世の歴史文化観光拠点として、城跡としての風格を備えた市民の公園として整備を図ります。
- ・大友氏遺跡歴史公園周辺は、歴史的資源を生かした中世の歴史文化観光拠点として歴史公園の整備を図るとともに、親水空間の創出に向けた検討を行います。
- ・中心市街地におけるオープンスペースの創出、サインやストリートファニチャー、パブリックアートなどの設置を図り、多様な人が憩い・交流し、回遊性と滞留性のバランスのとれたにぎわいのある環境形成を図ります。

(b) 緑化の推進によるうるおいある市街地の形成

- ・街路樹などによる緑化を推進するとともに、敷地内における樹木や花壇などによる緑化、建物における壁面緑化・屋上緑化などを促進し、花と緑に囲まれたうるおいある都市空間の形成を図ります。

第3章 地区別構想

■ b. 風格と魅力ある美しい都市景観の形成

(a) 美しいシンボル景観の形成

- ・本市の玄関口である JR 大分駅を中心とした中心市街地は、本市の顔となる地区であり、県都にふさわしい風格ある美しい都市景観の形成を図ります。
- ・中央通り、国道 197 号では、植栽や沿道の建物と一体となった中心市街地のシンボルとなるメインストリートにふさわしいまちなみ景観の形成を図ります。
- ・大分いこいの道では、植栽や沿道の建物と一体となった中心市街地のシンボルとなるメインストリートにふさわしい良好な景観の維持を図ります。
- ・「大分駅北口エリア」では、無電柱化や緑化、広告・看板設置の規制・誘導、花と緑に囲まれたうるおいのある都市空間の形成などを進め、中心市街地にふさわしい美しいまちなみ景観の形成を図ります。
- ・「大分駅南口エリア」では、大分駅南地区地区計画に基づき、建物デザインや広告・看板、緑化の工夫などにより、落ち着きとうるおいあるまちなみ景観の形成を図ります。
- ・「大分城址公園周辺エリア」では、景観地区・地区計画に基づき、歴史資源を生かしつつ、民地内の緑の保全・緑化を推進するとともに、緑と調和した建築物等の誘導により、魅力ある落ち着いたまちなみ景観の形成を図ります。
- ・「大友氏遺跡周辺エリア」では、「南蛮文化発祥都市おおいた」の創造・体感・発信拠点として、中世豊後府内の歴史を生かした市街地景観形成の方策の検討を行います。
- ・都心景観軸として位置付けた道路は、景観重要公共施設の指定や、管理者間の連携などにより、統一感のある道路景観を形成します。
- ・都心の森は景観の保全・形成を図るとともに、大分市美術館などと一体となった憩い、安らぐ交流空間の形成を図ります。さらに、中心市街地を眺望する視点場の整備などにより、緑の景観軸の連続性を確保します。

(b) 屋外広告物の規制・誘導

- ・商業地域としてのにぎわいの演出や、連続性の創出、道路の沿道における調和のとれた通り景観の形成など、中心市街地内の各地域の特性に応じた屋外広告物の規制・誘導を行い、にぎわいと統一感のある美しいまちなみの形成を図ります。



大分いこいの道



大友氏遺跡歴史公園

中心市街地の景観形成方針図



序章
都市計画
マスタープランとは

第1章
都市づくりの目標

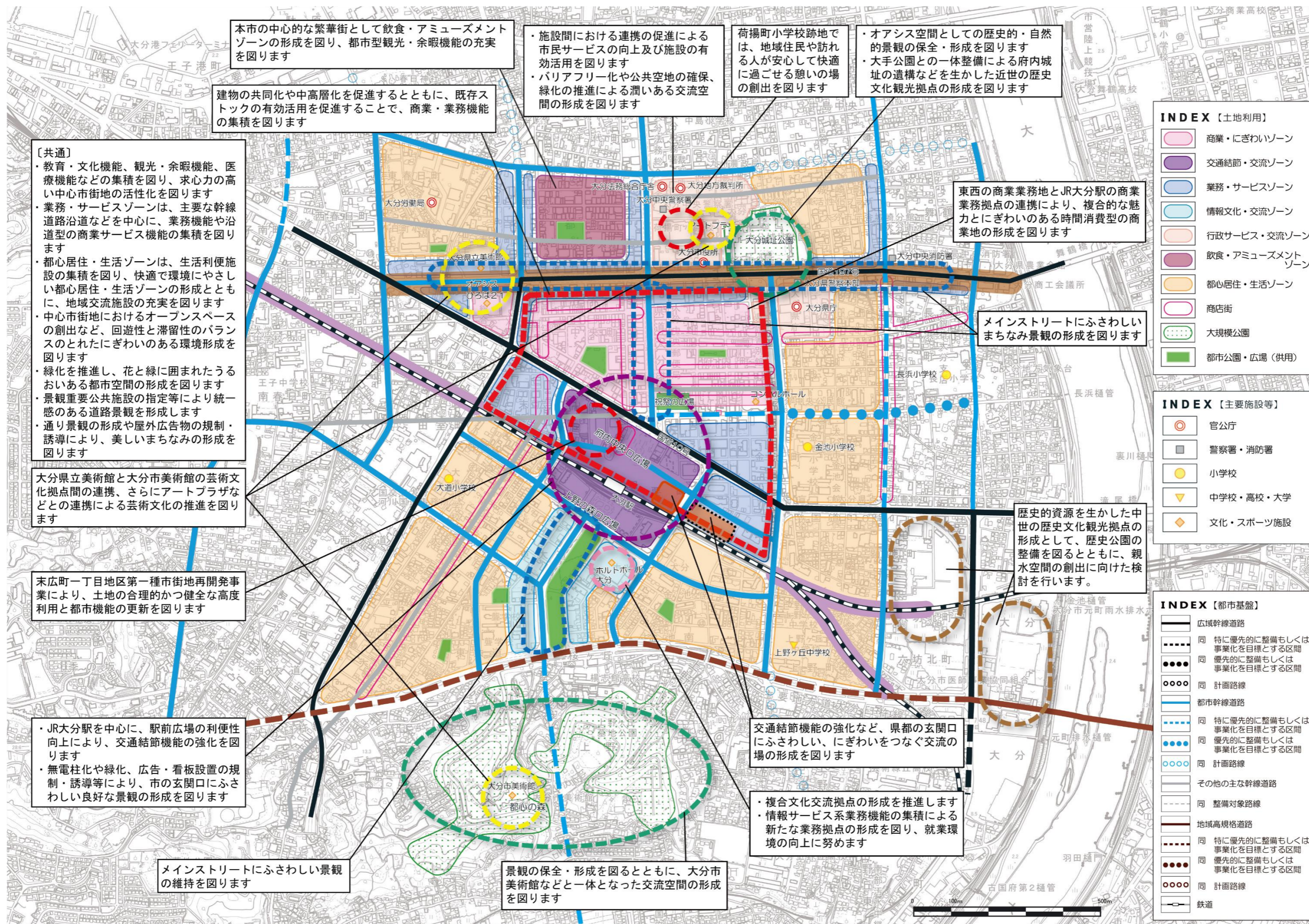
第2章
全体構想

第3章
地区別構想

市中心地

第4章
計画の実現に向けて

中心市街地のまちづくりの方針図 <<土地利用・市街地整備 環境・景観>>



【共通】

- ・教育・文化機能、観光・余暇機能、医療機能などの集積を図り、求心力の高い中心市街地の活性化を図ります
- ・業務・サービスゾーンは、主要な幹線道路沿道などを中心に、業務機能や沿道型の商業サービス機能の集積を図ります
- ・都心居住・生活ゾーンは、生活利便施設の集積を図り、快適で環境にやさしい都心居住・生活ゾーンの形成とともに、地域交流施設の充実を図ります
- ・中心市街地におけるオープンスペースの創出など、回遊性と滞留性のバランスのとれたにぎわいのある環境形成を図ります
- ・緑化を推進し、花と緑に囲まれたうらおいある都市空間の形成を図ります
- ・景観重要公共施設の指定等により統一感のある道路景観を形成します
- ・通り景観の形成や屋外広告物の規制・誘導により、美しいまちなみの形成を図ります

大分県立美術館と大分市美術館の芸術文化拠点間の連携、さらにアートプラザなどの連携による芸術文化の推進を図ります

末広町一丁目地区第一種市街地再開発事業により、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ります

- ・JR大分駅を中心に、駅前広場の利便性向上により、交通結節機能の強化を図ります
- ・無電柱化や緑化、広告・看板設置の規制・誘導等により、市の玄関口にふさわしい良好な景観の形成を図ります

メインストリートにふさわしい景観の維持を図ります

景観の保全・形成を図るとともに、大分市美術館などと一体となった交流空間の形成を図ります

本市の中心的な繁華街として飲食・アミューズメントゾーンの形成を図り、都市型観光・余暇機能の充実を図ります

建物の共同化や中高層化を促進するとともに、既存ストックの有効活用を促進することで、商業・業務機能の集積を図ります

- ・施設間における連携の促進による市民サービスの向上及び施設の有効活用を図ります
- ・バリアフリー化や公共空地の確保、緑化の推進による潤いある交流空間の形成を図ります

荷揚町小学校跡地では、地域住民や訪れる人が安心して快適に過ごせる憩いの場の創出を図ります

- ・オアシス空間としての歴史的・自然的景観の保全・形成を図ります
- ・大手公園との一体整備による府内城址の遺構などを生かした近世の歴史文化観光拠点の形成を図ります

東西の商業業務地とJR大分駅の商業業務拠点の連携により、複合的な魅力とにぎわいのある時間消費型の商業地の形成を図ります

メインストリートにふさわしいまちなみ景観の形成を図ります

歴史的資源を生かした中世の歴史文化観光拠点の形成として、歴史公園の整備を図るとともに、親水空間の創出に向けた検討を行います。

交通結節機能の強化など、県都の玄関口にふさわしい、にぎわいをつなぐ交流の場の形成を図ります

- ・複合文化交流拠点の形成を推進します
- ・情報サービス系業務機能の集積による新たな業務拠点の形成を図り、就業環境の向上に努めます

INDEX【土地利用】

- 商業・にぎわいゾーン
- 交通結節・交流ゾーン
- 業務・サービスゾーン
- 情報文化・交流ゾーン
- 行政サービス・交流ゾーン
- 飲食・アミューズメントゾーン
- 都心居住・生活ゾーン
- 商店街
- 大規模公園
- 都市公園・広場（供用）

INDEX【主要施設等】

- 官公庁
- 警察署・消防署
- 小学校
- 中学校・高校・大学
- 文化・スポーツ施設

INDEX【都市基盤】

- 広域幹線道路
- 同 特に優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 同 優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 計画路線
- 都市幹線道路
- 同 特に優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 同 優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 計画路線
- その他の主な幹線道路
- 同 整備対象路線
- 地域高規格道路
- 同 特に優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 同 優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 計画路線
- 鉄道

序章 都市計画マスタープランとは

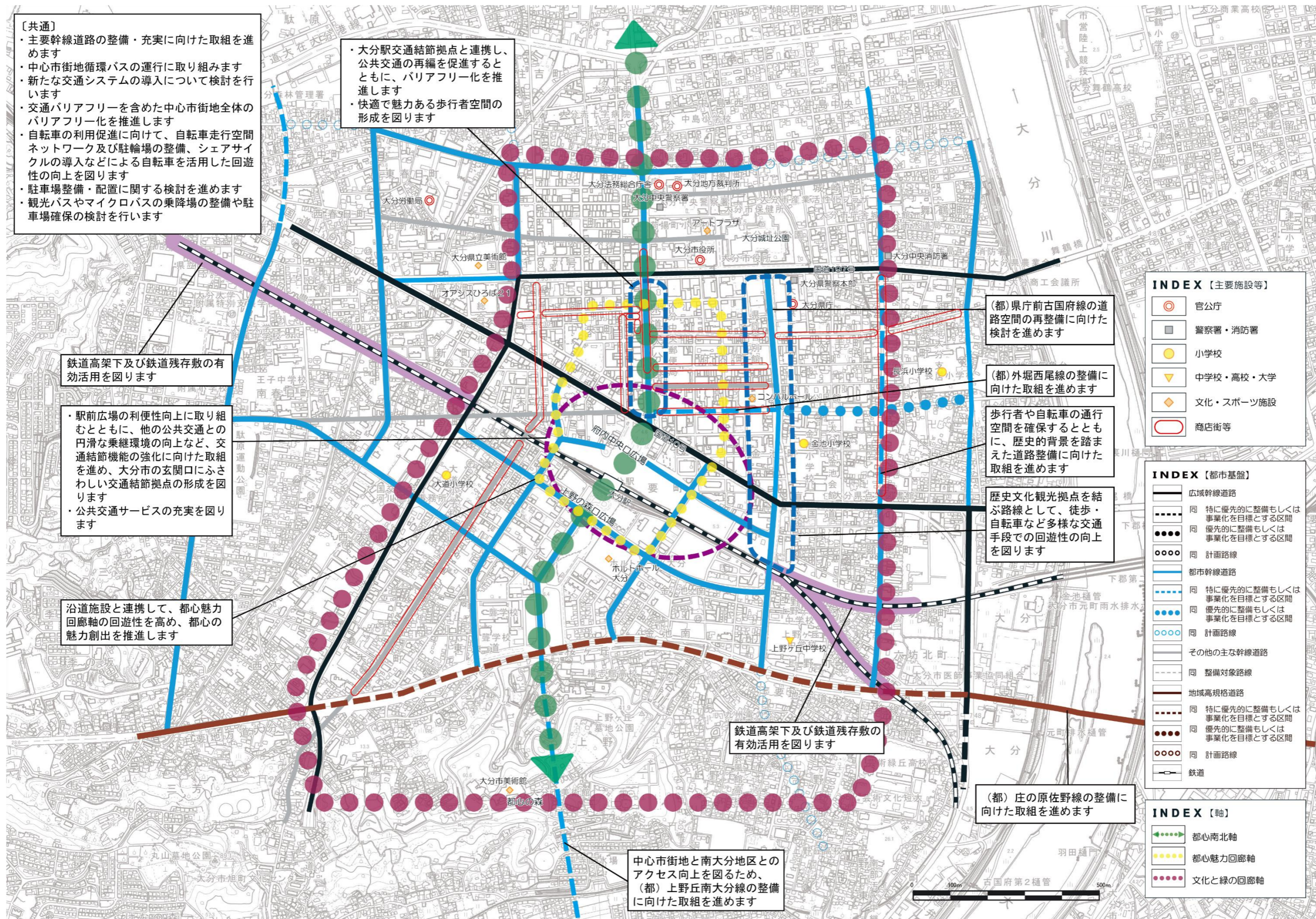
第1章 都市づくりの目標

第2章 全体構想

第3章 地区別構想 中心市街地

第4章 計画の実現に向けて

中心市街地のまちづくり方針図 《交通施設》



【共通】

- ・主要幹線道路の整備・充実に向けた取組を進めます
- ・中心市街地循環バスの運行に取り組みます
- ・新たな交通システムの導入について検討を行います
- ・交通バリアフリーを含めた中心市街地全体のバリアフリー化を推進します
- ・自転車の利用促進に向けて、自転車走行空間ネットワーク及び駐輪場の整備、シェアサイクルの導入などによる自転車を活用した回遊性の向上を図ります
- ・駐車場整備・配置に関する検討を進めます
- ・観光バスやマイクロバスの乗降場の整備や駐車場確保の検討を行います

・大分駅交通結節拠点と連携し、公共交通の再編を促進するとともに、バリアフリー化を推進します

・快適で魅力ある歩行者空間の形成を図ります

鉄道高架下及び鉄道残存敷の有効活用を図ります

・駅前広場の利便性向上に取り組むとともに、他の公共交通との円滑な乗継環境の向上など、交通結節機能の強化に向けた取組を進め、大分市の玄関口にふさわしい交通結節拠点の形成を図ります

・公共交通サービスの充実を図ります

沿道施設と連携して、都心魅力回廊軸の回遊性を高め、都心の魅力創出を推進します

中心市街地と南大分地区とのアクセス向上を図るため、(都)上野丘南大分線の整備に向けた取組を進めます

(都)県庁前古国府線の道路空間の再整備に向けた検討を進めます

(都)外堀西尾線の整備に向けた取組を進めます

歩行者や自転車の通行空間を確保するとともに、歴史的背景を踏まえた道路整備に向けた取組を進めます

歴史文化観光拠点を結ぶ路線として、徒歩・自転車など多様な交通手段での回遊性の向上を図ります

(都)庄の原佐野線の整備に向けた取組を進めます

INDEX【主要施設等】

- 官公庁
- 警察署・消防署
- 小学校
- ▼ 中学校・高校・大学
- ◇ 文化・スポーツ施設
- 商店街等

INDEX【都市基盤】

- 広域幹線道路
- - - 同 特に優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 同 優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 同 計画路線
- 都市幹線道路
- - - 同 特に優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 同 優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 同 計画路線
- その他の主な幹線道路
- - - 同 整備対象路線
- 地域高規格道路
- - - 同 特に優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 同 優先的に整備もしくは事業化を目標とする区間
- 同 計画路線
- 鉄道

INDEX【軸】

- 都心南北軸
- 都心魅力回廊軸
- 文化と緑の回廊軸

序章 都市計画マスタープランとは

第1章 都市づくりの目標

第2章 全体構想

第3章 地区別構想

市中心街地

第4章 計画の実現に向けて